

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報 第六百七十八號

明治四十年六月廿七日

和歌山縣

公文

○和歌山縣令第三十五號

船鑑札規則施行細則左ノ通り相定メ明治四十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年六月二十四日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

船鑑札規則施行細則

第一條 船鑑札交付、書換、再交付ノ申請又ハ返還届ハ船籍港ヲ管轄スル郡市役所(郡ハ町村役場ヲ經テ)ニ差出スヘシ

但西洋形船舶コ付テハ本條ノ手續ヲ經テ當廳ニ差出スヘシ

第二條 郡市役所ニ於テ前條ノ船鑑札交付ノ申請ヲ受ケタルトキハ船舶ノ積量ヲ測度スヘシ

但船鑑札規則第二條第二項ノ証明書ヲ差出シタルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得

第三條 郡市役所ニ於テ前條ノ規定ニ依リ船舶ノ積量ノ測度ヲ爲シタルトキ又ハ船鑑札規則第二條第二項ノ規定ニ依リ差出シタル証明書ヲ適當ナリト認メタルトキハ同則第二號書式ノ船鑑札

ヲ交付スヘシ

第四條 船鑑札ニ記載シタル事項ノ變更カ積量ノ測度ニ係ルトキハ郡市役所ハ之レカ改測ヲ爲ス

ヘシ

第五條 甲郡市役所管内ニ船籍港ヲ定メタル船舶ノ船籍港ヲ乙郡市役所管内ニ變更スルトキハ船舶

所有者ハ二週間内ニ事由ヲ疏明シ甲郡市役所(郡ハ町村役場ヲ經テ)ニ轉籍ヲ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ甲郡市役所ハ遲滞ナク前項ノ申請書ニ船鑑札臺帳ノ磨本積量ノ測度ニ關スル書類ヲ添付シテ其旨乙郡市役所ニ通知スヘシ

但他府縣へ轉籍ノ場合ハ本項ノ書類ヲ添付シ當廳ニ報告スヘシ

第六條 行政區畫變更ノ爲メ船籍港カ甲郡市役所ノ管轄區域ヨリ乙郡市役所ノ管轄區域内ニ轉屬シタルトキハ甲郡市役所ハ申請ヲ待ツス遲滞ナク船鑑札臺帳ノ磨本、積量ノ測度ニ關スル書類ヲ乙郡市役所ニ送付スヘシ

第七條 郡市役所カ船鑑札ノ書換若クハ再交付ノ申請ヲ受ケタル場合、第五條第二項ノ通知ヲ受ケタル場合又ハ前條ノ規定ニ依リ船鑑札臺帳ノ磨本ヲ受ケタル場合ニ於テ船鑑札ヲ交付スヘキモノト認ムルトキハ之ヲ船舶所有者ニ交付スヘシ

附 則

第八條 明治三十年三月和歌山縣令第三十一號船鑑札申請手續ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第九條 本則施行ノ際現ニ船鑑札ヲ受有スル船舶ノ所有者ニシテ總噸數十噸未満又ハ積石數百石未満ノ船舶ハ本則施行ノ日ヨリ二箇年内ニ總噸數十五噸未満又ハ積石數百五十石未満ハ二年六箇月間ニ總噸數二十噸未満又ハ石數二百石未満ハ三箇年内ニ更ニ船鑑札ノ交付ヲ申請シ現ニ受有スル船鑑札ヲ返還スヘシ

○和歌山縣令第三十六號

明治十八年二月本縣布第七號墓地及埋葬取締細則第一條隣地主連署ノ下ニ（連署ヲ拒ミタルトキハ其理由ヲ附記シ）ノ割註ヲ加フ

明治四十年六月廿五日

和歌山縣知事 伊澤多喜男

○助役ノ異動

那賀郡粉河町有給助役 谷 所 嗽

右六月二十日認可

○觀 測

明治四十年六月廿二日ヨリ三日間當地氣象概況

種 類	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
月 日	六 月 廿 二 日	六 月 廿 二 日	六 月 廿 三 日	六 月 廿 三 日	六 月 廿 四 日	六 月 廿 四 日
平均氣壓	七五〇耗六	七五八耗一	七五四耗四	七五六耗三	七五六耗六	七五五耗〇
平均氣溫	二〇度八	二〇度二	二〇度二	二〇度八	二〇度四	二〇度一
最高氣溫	二三度八	二五度四	二一度五	二五度〇	二三度〇	二二度二
最低氣溫	一八度七	一六度四	一八度六	一八度〇	一七度五	一八度四
最多風向	北	西南	北	南西	北	東
平均風力	一米八	二米九	一米四	二米四	一米三	二米三

明治三十三年五月八日第三種郵便物認可

報報第百七十八號

明治四拾年六月廿七日 第三種郵便物認可

四終

天氣	雨又曇	晴	雨	曇	曇又雨	曇又雨
雨量	八耗五	一	一一耗七	一	八耗六	四耗一
記事	終日時々降雨	午前九時沿海 ノ警報着電	終日降雨斷續	午前二時二分 五十一秒微震 月暈ヲ映ス	時々微雨	終日時々降雨

(每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

和歌山市久保町一丁目(物地)
印刷人 山本友次郎